

新町長に 吉田数博氏が就任



8月5日執行浪江町長選挙の結果、吉田数博氏が初当選し、昭和31年の合併以降第17代(10人目)となる浪江町長に就任しました。

吉田町長は、8月7日に浪江町役場本庁舎に初登庁し、「子供たちにしっかりとした形で町を残し、明日へつながる浪江町を造っていきたい」と決意を述べました。

町長就任に当たって

このたび、馬場有前町長の後を受け重責を担うことになり、身の引き締まる思いです。

様々な困難な課題を抱えての復旧・復興の道程ではありますが、私たちは子供たちに浪江町を引き継ぐ責任があります。私はしっかりと町を再生し、引き継いでいきたいと考えています。そのために、これまで馬場前町長が取り組んできた復旧・復興のための数々の施策や事業を継続し、さらなる進展をさせるべく努力を重ね、「どこに住んでいても浪江町民」の理念の下、町民の皆さまの生活再建・生活支援策を維持し、絆を絶やさないうようしっかりと努めてまいります。

そして、「町のこし」を実現するため、かつて主要産業であった農林水産業を再生することが重要と考え、再生の具現化に向け、早急に対応策を検討してまいります。同じく、雇用の場の創出も不可欠であり、イノベーション・コースト構想および福島新エネ社会構想に基づく先端産業施設(世界最大規模の水素製造拠点、木材製品生産拠点施設、ドローン滑走路等)に、若い方の力を生かしたいと考えています。また、交流・情報発信の拠点として事業を進めている道の駅については、町の伝統産業である大堀相馬焼や地酒の出店などを模索中であり、地場産品の育成にも努めてまいります。

現在、帰町されている町民の皆さま、帰町を考えている皆さまにとって最大の課題となっている買物環境(スーパー)の整備については、スピード感をもった対応を進めてまいります。さらに、帰還困難

浪江町長 吉田数博

区域については、特定復興再生拠点整備事業の開始を地域再生へ向けた足掛かりとしていきます。近い将来、浪江町に子供たちの声が響き、若い方々が生き生きと生活し、高齢者の方々が安全安心に暮らせる町を目指し、全精力を傾注して、この難局に対処してまいります。

8月5日執行 浪江町長選挙・浪江町議会議員補欠選挙 投票率

確定投票率	投票率	
	町長選挙	町議会議員補欠選挙
当日投票数	3,239人	3,238人
期日前投票数	2,786人	2,786人
不在者投票数	616人	616人
投票総数	6,641人	6,640人
当日有権者数	15,417人	15,417人
投票率	43.08%	43.07%

投票総数内訳	投票総数	
	町長選挙	町議会議員補欠選挙
投票総数	6,641票	6,640票
有効投票数	6,513票	6,385票
無効投票数	128票	255票
持ち帰り票数	0票	0票

問 選挙管理委員会事務局 (総務課内) TEL 0240(34)0235